

# ドライバーの健康を！

全ト協、OCHIS

## 8月からセミナー再開

全日本トラック協会（坂本克己会長）とヘルスケアネットワーク（OCHIS、武田裕理事長）は8月以降、定期健康診断の有効活用と、睡眠時無呼吸症候群（SAS）対策のセミナーを全国のトラック協会と順次開催する。新型コロナウイルスの影響で延期となっていた。

セミナーは8月6日の熊本県トラック協会から始まり、26日に富山、27日に福井、28日に秋田の各ト協で実施する。9月以降も全国各地でセミナーを行う。参加は無料。

今年度のセミナーは3部構成で、第1部は、OCHISが構築したドライバーの定期健康診断の事後支援をする「運輸へ

セミナーは8月6日の熊本県トラック協会から始まり、26日に富山、27日に福井、28日に秋田の各ト協で実施する。9月以降も全国各地でセミナーを行う。参加は無料。

感染症対策を解説する。第3部は、SASSスクリーニング検査の進め方や運用法を報告する。講師はOCHIS保健師の黒田悦子氏と、国土交通省のSASSマニュアル作成に携わった作本貞子OCHIS副理事長が務める。

（遠藤 仁志）